

# 大好き！絵本

初瀬 恵美



『おすしがふうをかいにきた』  
作：田中 達也  
出版社：白泉社

今月ご紹介する絵本は、『おすしが ふうを かいにきた』という絵本です！この絵本はこどもの友社の方にすすめて頂いた「園文庫」の中の一冊です。(市販されています)「作家さんは、熊本出身の方で、こどもの友社の社員が選んだ一冊です！」と教えていただきました。私は表紙とタイトルを見ただけで、心をつかまれました。

内容は、いろいろな食べ物や道具たちが、お店で買い物やサービスを楽しむお話し。人と食べ物、道具が共存しているちょっと、不思議で、ユーモアあふれる世界観の絵本です。

例えば、絵本の一部を紹介させていただくと、  
おすしが ふうをかいにきた  
「サーモンにします？」  
「おもいきって トロにしようかな？」  
やっぱり いつもの タマゴにした



こんな感じです。絵本を読んでさらにツボに入り、大爆笑してしまいました(笑)タマゴの服を買ったおすし。新たに購入したと思われるハートのサングラスもつけています(笑)

ページの一番下の写真は、洋服を選んでいるときのものです。イクラやネギのネックレス？が飾られていたり、ハンガーラックは爪楊枝で、できていたり、店員さんは人間で、とてもスタイリッシュだったり(笑)します。

よく見ていただくと、この中に違和感がある人と動物が存在します。私は全く気がつかなかったのですが、一緒に読んでいた子が「あれ？なんでここに？」と気がついたのです。そのなぞは、全ページを通して、つづきました。そして最終ページ、さらに絵本を閉じて裏表紙からの表紙を見直したときにクリアになりました。つまり正確に言うと、表紙からもう一つのストーリーは、はじめていたのです。もしかして、「もう一つ」だけではなく、その他にもあるかもしれません…。そんな、いろいろな発見も詰まった絵本。構成の随所に遊び心があり、とても素敵です！

作者の田中さんは、てっきり絵本作家さんだと思っていましたが、実はミニチュア写真家・見立て作家さんとのこと。現代美術館で個展が開催されていたり、2017年、NHK朝ドラ「ひよっこり」のオープニング映像もされていたそうです。絵本だけでなく、インスタグラムやYOUTUBEなど田中ワールドを楽しむ他にもツールがあります。絵本がお手元にないかたは、まずはぜひ、そちらをのぞいてみてください。

